

# WORK 3

## 自己PR文を書こう

**ねらい** 自己分析で、あなたの長所や特徴が見つかったら、それを簡潔に伝える自己PR文に組み立てる方法を学びましょう。そして、実際にあなたの自己PR文を書く練習をしましょう。

**方法**

1. 先輩の自己PR文を参考に、このWORKに取り組みましょう。
2. Q1で、あなたの自己PR文の骨組みをつくりましょう。
3. Q2で自己PR文をまとめ、Q3で評価をしましょう。

次の先輩の自己PR文を参考にして、下の問いに取り組みましょう。

私の長所はねばり強いところです。高校3年間で「遅刻ゼロ」という目標を掲げました。遅刻が多かった中学時代の反省から、改善したいと思ったためです。日ごろは、目覚まし時計を2つかけて早めに起きるようにしています。自転車がパンクして、家に戻ってからバスで行ったときも十分間に合いました。このように心がけて、今日まで遅刻をしていません。つらくてもあきらめずに努力することの喜びを感じています。目標に向かって努力することで自信がもてました。これからも最後まであきらめずに、決めたことにはねばり強く取り組もうと思います。

**Q1** WORK2でまとめたあなたの長所・特徴について、STEP1～7のSTEPで自己PR文の骨組みをつくりましょう。

**STEP1** あなたの長所・特徴（4ページのQ2に書いたもの）

例 **ねばり強いところです。**

**STEP2** その長所・特徴を表す体験や事実

例 **高校3年間で遅刻をしなかったということです。**

**STEP3** STEP2をもたらすことになったきっかけや動機

例 **中学時代は遅刻が多かったので、高校に入ってからではなくしたいと思っていました。**

**STEP4** STEP2の体験や事実を表す具体的なエピソード

例 **早めに起きるように目覚まし時計を2つかけました。**

**STEP5** この体験や事実から感じたこと

例 **最後まであきらめずに努力することの喜びを感じることができました。**

**STEP 6** この体験や事実によって、自信がついたこと、成長したと思うこと

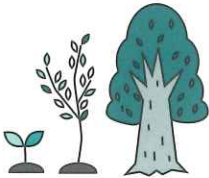
a. 自信がついたこと

例 「自分を変えられる」という自信がついた。



b. 成長したこと

例 遅刻が多いという中学時代の短所を改善できた。



**STEP 7** 進路先でSTEP1のあなたの長所・特徴を生かして、力を発揮したいと思うこと

例 仕事上の課題にも、ねばり強く取り組んでいきたい。

**Q2** あなたの自己PRを文章にまとめましょう。Q1でつくったPRの骨組みをもとに、説得力のある文脈に組み立てて、簡潔な文章を書きましょう。(200字以内)

5

10

**Q3** 2人一組になり、このノートを交換して、互いの自己PR文を、次の①～⑤について4段階で相互評価しましょう。

	不十分	やや十分	まあ十分	十分
①長所や特徴が明確である。	1	2	3	4
②具体的なエピソードや自分の経験を交えて書いてある。	1	2	3	4
③自分の言葉で書いてある。	1	2	3	4
④説得力のある文章になっている。	1	2	3	4
⑤誤字や脱字がなく、丁寧に書いてある。	1	2	3	4